

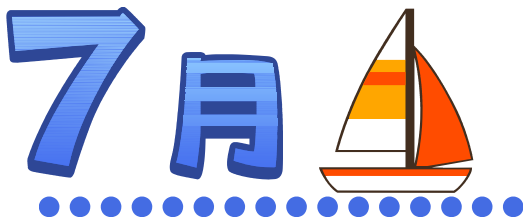


第二ぎんなん便り

社会福祉法人
熊本市をつなぐ育成会
第二ぎんなん作業所
平成29年7月27日
第374号

施設長

井芹 靖成



先日、埼玉県の障がい者施設で痛ましい事故が発生していました。施設到着後、送迎車の中に残っている利用者さんがおられるのに気づかず、6時間後に発見された時には熱中症でお亡くなりになっていたという事故でした。きっとその日の施設での活動を楽しみに家を出られたのではないかと思います。この事故を考えると、最悪の結果を招く前に、いろいろとすべき対応があったのかなと感じました。登園後に大方の事業所では朝の会等があると思います。きっと通常であれば出欠の確認がなされると思います。給食もあったということなので、給食数と利用者さんの数との確認ができたのではないかと思います。きっと普段はされていたのかも知れませんが、その日は明らかにされていなかったことが考えられます。報・連・相が不十分だったのかなと思うと、本当に残念です。

以前学校に勤務していました。学校でも朝の出欠の確認や上司への出欠報告がなされていました。また、校外学習や宿泊学習等の校外での活動の際も、できるだけ集団で移動したり、活動中の人員確認をこまめにしたりしていました。それでも、やはり確認が不十分なときがありました。幸い大きな事故には繋がったことはありませんが、ヒヤッとした経験があります。学校の時、「学校で一番大事な仕事は、子どもたちの命を守ること」

とよく話していました。福祉事業所でも全く同じで、「福祉事業所で一番大切なことはまず、利用者さんの命、生活を守ること」ではないかと思います。今後第二ぎんなん作業所で絶対痛ましい事故が起きない様に全職員で心がけていきたいと思っています。

【台風3号】

前項で危険に対する対応に心がけますと記述しました。今回の台風3号では対応が甘く、実際、ずぶ濡れになったり、強風の中出勤された利用者さんもおられ、大きく反省したところです。

今回の3号は予報では、勢力も小さく速度も速かったので、影響はさほどないと考え、自宅待機等の措置は取らないことにしました。9:00までに出勤された方は、何の影響もなく通常に出勤されました。ところが9:00過ぎて急に風雨が激しくなり、傘がさせない状況になりました。とても心配しました。2名の方は、市役所、病院で自発的に待機されました。3名の方が雨に濡れて出勤されました。午後から出勤された方もおられました。幸いケガ等の被害に遭われた方がおられず、台風が過ぎてホッとしました。と、同時にゾッと多めに反省をしたところです。判断をするときに利用者さんの事をもちろん考えますが、判断の際ついその他の事も考えてしまうことがあります。きっとそうなる利用者さん第一の判断ができなくなるのではないかと思います。今後は、利用者さん第一の判断をしていきたいと思っています。また、災害時のマニュアルを保護者さんへ配布し、事業所と御家庭の両方で利用者さんを危険から守っていききたいと思っています。



【ピーマン、ナスの収穫をしました】

夏本番になり、農場に植えたピーマンの収穫が本格的になりました。40株ほどの苗から多い日はコンテナ2箱ほどの収穫があります。大きさ、つやもあり、早速販売をしています。少し遅れて定植したナスも実り始めたので、ピーマンと併せて収穫を始めました。収穫したピーマン、ナスは保護者、職員、地域へ、一袋100円で販売しました。季節（夏）の野菜をそれぞれのご家庭で料理に使っていただきました。

①ピーマン収穫



一株からたくさんさんのピーマンが収穫できます。丁寧にはさみで収穫しました。

②販売準備（袋詰め）

収穫したピーマンは、作業所に持ち帰って、きれいに拭き上げて袋に入れます。



③無人販売



作業所の前に簡易の販売所を作りました。近所の方が散歩途中で購入いただいています。

【体験実習、現場実習】

7月は2件の体験、現場実習がありました。お一人は熊本支援学校の2年生の生徒さんで、2週間の実習でした。作業所の仕事を楽しんでいただけたとのことでした。もう一人は既卒の方でした。2日間の体験で、こちらが終わった後の感想で、楽しかったと言っていました。また、お待ちしております。



【リサイクル回収の様子】

ぎんなん作業所の業務の一つにリサイクル業務があります。地域の方々や学校、事業所さんにご協力いただき新聞紙やアルミ缶、雑誌、本を回収しています。回収は利用者さんが職員と一緒に軽のワゴンで市内一円を周り、回収しています。回収物は資源ゴミとして業者さんに引き取っていただき、利用者さんの収益として工賃になります。

【回収の様子】



雑誌や本なども回収しています。重たくても大丈夫です。



アルミ缶も回収しています。

【新しい仲間を募集しています】

現在、第二ぎんなん作業所では、定員に空きがあります。和気あいあいとして、温かく細やかな支援が自慢です。昨年の保護者アンケートで「通わせてよかった」という回答が100%であったことがその現れだと思えます。もし、これから就労継続支援B型事業所を利用したい、または、関心がある方は、ぜひ一度見学、体験をされてみませんか。お待ちしております。

